

研究課題名

「小児・AYA世代の血液・腫瘍領域における非結核性抗酸菌感染症の罹患状況に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日から2020年12月31日の間に、国内の共同研究施設（「5. 研究組織」を参照）において血液・腫瘍疾患の診療を受けている方で、非結核性抗酸菌感染症と診断された40歳未満の方

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的は、国内の血液疾患、免疫不全、腫瘍疾患で診療中の小児・AYA世代の患者さんにおける非結核性抗酸菌感染症の罹患状況を調査することです。

2010年1月1日から2020年12月31日の間に、血液・腫瘍疾患の診療を受けている40歳未満の方で、非結核性抗酸菌感染症と診断された方が対象です。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、小児・AYA世代の血液・腫瘍領域における非結核性抗酸菌感染症の罹患状況について検討させていただきます。

研究期間は実施承認日～2023年3月31日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：感染症と診断した際の培養検体が保存してある場合には、その菌株について遺伝子解析を行います。菌株のみを対象とし、患者さん自身の遺伝子解析は行いません。

情報：年齢、性別、原疾患、既往歴、治療歴、移植歴（合併症含む）、臨床診断、感染巣、菌種名、診断方法、症状、診断までの日数、抗菌薬、治療期間、臨床経過（転機）等

4. 外部への試料・情報の提供

国立感染症研究所で非結核性抗酸菌の菌株の遺伝子解析を行います。菌株の提供は、連結匿名化した上で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 高橋義行

国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部 星野仁彦

共同研究施設（患者さんの匿名化診療情報を提供していただく施設）：

北海道大学病院、福島県立医科大学、群馬大学、国立成育医療研究センター、埼玉県立小児医療センター、千葉県こども病院、千葉大学、東京医科歯科大学、東京都立小児総合医療センター、日本大学、新潟大学、福井大学、静岡県立こども病院、名古屋第一赤十字病院、浜松医科大学、大阪大学、京都大学、京都府立医科大学、近畿大学、神戸大学、兵庫県立こども病院、広島赤十字・原爆病院、高知大学、九州大学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 高橋義行

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2294

FAX 052-744-2974

千葉県こども病院における施設共同研究者及び連絡先：

千葉県こども病院 血液・腫瘍科 角田治美

住所 千葉市緑区辺田町579-1

電話 043-292-2111

FAX 052-292-3815